

愛知県豊川市財賀町で確認されたニホンカモシカ

安井謙介*・神戸 敦**・加藤利依**・今井尚子**

A record of Japanese serow, *Capricornis crispus* from Zaiga-cho,
Toyokawa City, Aichi Prefecture, central Japan

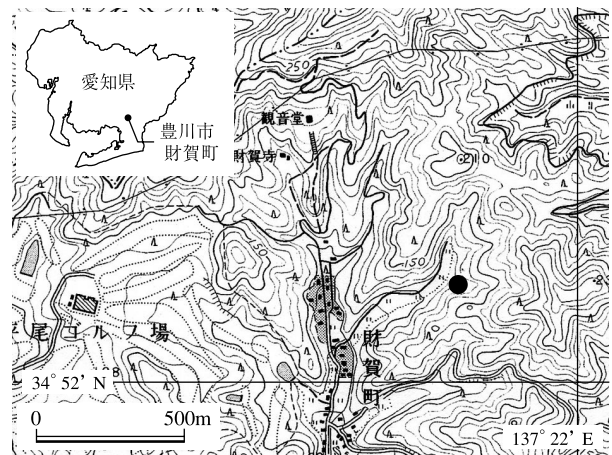
Kensuke Yasui *, Atsushi Kanbe **, Rie Kato ** and Naoko Imai **

はじめに

愛知県下のニホンカモシカ (*Capricornis crispus*) の分布域は 1970 年代前半までは奥三河地域の一部に限られ、愛知県からその姿が消えるのは時間の問題であるとされていた (宮尾ほか, 1984)。しかし, 1970 年代後半以降, その分布域は奥三河地域から著しく拡大し, 2005 年時点での県下の分布域は岡崎市, 瀬戸市, 豊川市, 豊橋市, 豊田市, 新城市, 設楽町, 東栄町, 豊根町の 10 市町村に及んでいる (愛知県, 2007)。

2009 年 11 月 18 日, 豊川市財賀町の山林においてニホンカモシカの死亡個体が発見され, 豊川市教育委員会の御厚意により豊橋市自然史博物館で晒骨標本として保管されることとなった。愛知県での分布域のほぼ南端と考えられる豊川市において, ニホンカモシカのこれまでの報告は, 豊川市三上町での目撃報告 (原田, 1998) やアンケート調査および聞き取り調査結果による本宮山周辺での生息情報 (愛知県, 2007) など伝聞や目撃に基づくもののみであった。また, 2005 年以降も旧一宮町を含む豊川市内でニホンカモシカの死亡個体が確認されたことは無い (豊川市教育委員会前田清彦氏, 私信)。

従って, 死亡個体に基づく豊川市でのニホンカモシカの確認は本個体が初めてである。また, 2009 年現在において, 本個体は愛知県での分布の南端付近で得られた標本となる。



第 1 図. 発見地位置図。

黒丸が発見地。国土地理院発行 2.5 万分の 1 地形図「御油」使用。

発見地点と経緯

2009 年 11 月 18 日, 愛知県豊川市財賀町穴河の山林にてニホンカモシカの新鮮な死亡個体を豊川市猟友会の倉富正昇氏と馬場重久氏が発見した (第 1 図)。

愛知県東三河事務所および豊川警察署による現場検証で本個体の左胸部に散弾による銃創が 1 ヶ所確認されたため, 本個体は狩猟中の誤射が原因で死亡したと推測された。また, 2009 年度の狩猟解禁日が 11 月 15 日であったことから, 本個体は 11 月 15 日から 18 日の間に死亡したと併せて推定された。報告を受けた豊

* 豊橋市自然史博物館. Toyohashi Museum of Natural History. 1-238 Oana, Oiwa-cho, Toyohashi, Aichi 441-3147, Japan.

** 豊橋市自然史博物館ボランティア. Volunteers of Toyohashi Museum of Natural History, 1-238, Oana, Oiwa-cho, Toyohashi 441-3147, Japan.

原稿受付 2009 年 12 月 11 日. Manuscript received Dec. 11, 2009.

原稿受理 2009 年 12 月 15 日. Manuscript accepted Dec. 15, 2009.

キーワード: ニホンカモシカ, 豊川市, 愛知県.

Key words: *Capricornis crispus*, Toyokawa City, Aichi Prefecture.

川市教育委員会は文化庁に文化財保護法第 33 条に基づく滅失届を申請するとともに、本個体を豊橋市自然史博物館へ譲渡した。

個体記録

本個体はオスで、角輪数が 6 であることから 7 歳の成獣であると推測された（第 2 図）。

外部計測値は以下のとおりである。なお、計測値のうち、胸囲と角長は杉村・鈴木（1992）、その他は阿部ほか（1994）に従った。また、体重は計測機器の不備により計測できなかった。

全長	115.8cm
尾長	5.2cm
頭胴長	110.6cm
胸囲	74.0cm
肩高	74.5cm
後足長	29.9cm
耳長	10.7cm
角長	13.8cm

左胸部に散弾による銃創 1 ヶ所、左耳介および口唇部に死後他の動物に齧られたと思われる欠損、胴部右側面に沈降性鬱血による広範囲に渡る皮下組織の浮腫が各々認められた。これら以外に目立った外傷および病変は認められなかった。

なお、本個体は晒骨標本（TMNH-MA-304）として豊橋市自然史博物館に登録・保管されている。

謝 辞

ニホンカモシカ死亡個体の引き取りに際して便宜を図っていただいた豊川市猟友会の倉富正昇氏、馬場重久氏、同じく引き取りに際して便宜を図っていただくとともに豊川市におけるニホンカモシカの生息状況を御教示いただいた豊川市教育委員会生涯学習課の前田清彦氏に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- 阿部 永・石井信夫・金子之史・前田喜四雄・三浦信吾・米田政明，1994．日本の哺乳類．東海大学出版会，東京，195p.
- 愛知県，2007．特定鳥獣保護管理計画（カモシカ）．愛知県環境部自然環境課，愛知，36p.
- 原田猪津夫，1998．ほ乳類．新編豊川市史編集委員会（編），



第 2 図．豊川市財賀町穴河で発見されたニホンカモシカの死亡個体。

新編豊川市史第十卷「自然」－資料一，豊川市，愛知，186-190.

宮尾嶺雄・花村 肇・高田靖司・酒井英一，1984．哺乳類．佐藤正孝・安藤 尚（編），愛知の動物 愛知文化シリーズ（3），愛知県郷土資料刊行会，名古屋，286-325.

杉村 誠・鈴木義隆，1992．ニホンカモシカの解剖図説．北海道大学図書刊行会，札幌，82p.